



政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和 8 年 3 月 12 日

印西市議会議長 近藤 瑞枝 様

会 派 名	至 誠
代 表 者 氏 名	米井 重行
経 理 責 任 者 氏 名	大野 忠寄

令和7年4月14日付け印西議指令第 39 号で交付決定のあった政務活動費について、
印西市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により下記書類を添えて報告し
ます。

記

添付書類

- 1 政務活動費収支内訳書
- 2 政務活動費実施報告書

別添

政 務 活 動 費 収 支 内 訳 書

会 派 名 至 誠

代 表 者 氏 名 米 井 重 行

経 理 責 任 者 氏 名 大 野 忠 寄

1 収支実績

収 入 A	支 出 B	差 引 A-B
1,440,000 円	641,748 円	798,252 円

2 収支内訳

(1) 収入

項 目	内 容	金 額 (円)
政務活動費	月額 3 万円×12 カ月×4 人	1,440,000 円
合 計		1,440,000 円

(2) 支出

項 目	内 容	金 額 (円)
広報費	会派広報費「至誠」9月号	641,748 円
合 計		641,748 円

備考

- 1 使途基準の使途項目ごとに分類すること。
- 2 領収書等を添付すること。

会 計 帳 簿

(No. 1)

年月日	区 分	費 目	収入金額	支出金額	差引残額	備考
令和7年 4月24日	政務活動費		1,440,000円			
令和7年 9月29日	広報費	広報費 (印刷費)		641,528円	798,472円	領収書記載 折込み費含む
令和7年 9月29日	広報費	振込料		220円	798,252円	領収書記載
計			1,440,000円	641,748円	798,252円	

2025 年 9 月 12 日 締切分

アドユニ

千葉県千葉

登録番号

TEL 043-2

FAX 043-210-5925

振込先

会派 至誠 御中

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	繰越金額	御買上額	今回御請求額
			¥641,528	¥641,528

伝票日付	伝票No.	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
2025.9.12		■議会レポート	46,500	部		410,000
		■新聞折込(9/6)	16,200	部		61,560
		■地域新聞折込(9/12号)	30,175	部		111,647
		事務所納品分	125	部		

※お手数ですが、振込手数料は貴社ご負担でお願い致します。

小 計: ¥583,207

消費税: ¥58,321

合 計: ¥641,528

至誠

SHISEI

会派「至誠」は、保守系会派としての理念を大切に、印西市の均衡ある発展と市民福祉の向上を目指して活動してまいりました。このたび志を同じくする1名が加わり、4名の議員で力強く新たな一歩を踏み出します。

今後も健全な二元代表制を守り、執行機関とは適切な緊張感を保ちながら、公平・中立な立場で議会としての役割を果たしてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



4名の議員で新たなスタート!

研修会・視察

持続可能な地域公共交通を考える研修会に参加

印西市では、高齢化や人口構造の変化、また地域ごとの生活環境の違いに伴い、移動手段の確保がますます重要な課題となっています。特に駅から離れた地域や、日常の買い物・通院などに車を使えない方にとって、地域公共交通は暮らしを支える大切なインフラです。

こうした中、令和7年8月4日、「持続可能な地域公共交通について」をテーマに、研修会が開催され、市内の現状や課題、全国の先進事例、今後の取り組みの方向性について勉強しました。

〈全国の地域公共交通を取り巻く環境〉

- ◇運転手不足により、タクシーの供給が追いつかない
- ◇自動運転、AIデマンド、ライドシェアなど、地域とのマッチングは、どこまで可能か
- ◇交通システムありきの進め方がまかり通ってしまう中で、まずは地域のデータを収集整理してターゲットの状況を把握することからはじめる
- ◇令和6年度から、交通空白の解消や、AIデマンド、ライドシェアなどの導入が広がって来ている
- ◇意見交換の参加者の多くは、将来に備える意味で公共交通の必要性を要望しており、現時点で切実に困っているわけではない場合も少なくない…等



ではどうすべきか。「必要な人に、必要なものを提供できる交通システム」の構築が重要となります。公共交通は、需要と供給のバランスが大切です。安易に新しい仕組みを導入してしまうと、利用が想定より伸びず、結果的に行政・事業者双方にとって財政的な負担が増し、事業の継続が困難になる恐れがあります。

会派「至誠」では、必要とする方に必要なサービスが届くよう、今後も市の動向を注視して参りたいと思います。

浦安市「学びの多様化学校UMI」を視察しました

令和7年7月2日(水)、会派「至誠」は、浦安市に本年4月1日付で新設された「学びの多様化学校UMI(浦安市立浦安中学校分教室)」を視察いたしました。

本校は、浦安市内在住で不登校の状態にあるものの、「学びたい」という意欲があり、安全に通学ができる中学生を対象とする学校であり、1学年10名程度の少人数制で運営されています。

現在(令和7年7月2日)の在籍生徒数は3学年あわせて12名。職員は常勤12名と手厚く配置されており、生徒一人ひとりに寄り添った支援体制が構築されていることがうかがえました。

校舎は青年会館内に設けられており、周囲には浦安公園・図書館・博物館など公共施設も多く、学びの場として非常に恵まれた環境にあります。1階にはクライミング設備や卓球台も整備されており、体力づくりやリフレッシュの時間として授業に取り入れられていました。

教育課程においては、標準授業時数1,015時間を875時間に調整することで、教科指導に加え、「わくわくタイム(体験活動)」「じっくりタイム(個別学習)」「ぐんぐんタイム(自主課題への取組)」といった特色ある学びの時間が設けられています。

中でも「じっくりタイム」は、2・3年生では年間70時間に拡充されており、学習の遅れの補填や探究的な学びを深めるなど、生徒のニーズに応じた柔軟なサポートが可能となっていました。

また、学校運営においては、教職員が日々連携を密に取りながら、生徒への支援や理解に努めている様子が印象的でした。たとえば、生徒がその日の気持ちを「晴れ・曇り・雨」のカードで机上に提示する取り組みがなされており、教員が心の状態に応じた関わり方ができるよう配慮されていました。

こうした取組は、不登校生徒の居場所づくりとしてだけでなく、「自己肯定感の回復」や「社会とのつながりの再構築」といった観点からも、非常に意義深いものと感じました。

多様な学びを保障することは、地域全体で子どもたちの育ちと教育環境を支える基盤づくりでもあります。私たち会派としても、今後、印西市において同様の取組が検討・導入されるよう、引き続き調査研究を重ねてまいります。



※「学びの多様化学校」は、文部科学省による「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」の一環として、全国各地で設置が進められている制度です。

市民と市政を結ぶ、会派「至誠」のそれぞれの取り組み

市民の皆様の声を出発点に、地域課題の解決や政策提案に取り組むのが「至誠」の姿勢です。
小さな声を大切に市政へ届け、未来へ続くまちのかたちを、ともに描いてまいります。

仮称：コスモス通り最終段階へ ～10年間働きかけた声の形に～

計画開始より24年、私も市議当選当初から訴え続けてきたコスモス通り計画(千葉電ヶ崎線バイパス計画)が大きく前進しました。現在の千葉電ヶ崎線は、千葉NTから大森交差点までの区間に大きな課題を抱えています。

①渋滞が頻発するほどに大型車両や商業車の交通量が増加していること ②歩道が未整備な区画があり、児童の登下校時など歩行者の安全が十分に確保されていないこと。が課題の主な要因です。

そこで考えられたのが、新しくバイパスを通す、通称コスモス通り計画です。この計画はバイパスを新しく開通される事で、既存の道路の交通量を減らし近隣住民の皆様を不安を解消するだけではなく、千葉NTと大森・木下をつなぎ旧市街地の活性化にも期待できる大変有意義な計画です。

しかしながら、計画当初より24年が経過した現在においても未だバイパスは完成していません。その大きな要因は「用地買収」の難しさにありました。その用地買収を成立させるには、当然全ての地権者の同意が必要です。今回のケースでは、その用地買収の対象地に100名以上の地権者が登記に混雑する「共有地」が含まれていたのです。更には共有地の中でも、相続の関係で権利が子供や孫に枝分かれしていたり、逝去されるなどしても権利が未相続であったりと、用地買収の交渉をする以前にそもそも誰が地権者なのかを特定できない困難で複雑な状況となっていました。

その共有地が、この度、関係各所のご尽力によって、市の所有地として登記される事となりました。これはとても大きな前進です。共有地の移管にあたり、地権者111名をまとめ市への移管を決定して下さった大森区の海老原区長をはじめとする地域住民の皆様、そして交渉先の全ての地権者を確認するために、法務局との困難な交渉をクリアされた担当職員さんのご尽力に心より感謝いたします。*地権者を確認するために約80年前 終戦当時の情報にまで遡って調査されたとも聞いています。

私も議員になり10年、常に議会的一般質問にてコスモス通りの必要性を県・市に強く訴えてきました。今後一刻も早く市民の皆様を安全を確保できるよう、バイパスの早期完成に向け、県には取得済みの箇所から速やかに工事に着手するよう、市には残りわずかな用地買収を進めるよう、強く働きかけを続けてまいります。



市民の皆様の声を 行政に届けました。

Q 平賀区の生活道路として頻繁に利用している「市道殿司・台線」はU字溝に蓋がない所があり、人や車が落ちる危険があるので対応していただきたい。

A この件については、既に担当課に対応を依頼してありますので、今後の工事スケジュールをお聞きました。令和7年度において、私有地と道路等の境界線を決めて、8年度にU字溝の工事を予定しているとのことです。(160~170mの工事を予定している。)

Q 平賀小学校の通学路付近で、フェンスが倒れています。強風が吹いたら危険です。早急な対応をお願いしたい。

A 早速、現場を確認、対応を市の担当課に相談。地権者と連絡が取れたので状況をお話して早急な対応をお願いしました。



米井しげゆき

よねいしげゆき
印西市武西895 TEL.0476-46-718
建設経済常任委員会委員長
印西地区衛生組合協議会議長
議会運営委員会委員
決算審査特別委員会委員
公式ホームページ



岩崎 成子

いわさき しげこ
印西市平賀学園台3-17-7 TEL.0476-98-2487
印西地区消防組合協議会議長
文教福祉常任委員会委員
決算審査特別委員会委員



宅地内への雨水侵入

近年の線状降水帯を含むゲリラ豪雨や台風水害が発生する中、宅地が道路より低いため、幾度も浸水被害に見舞われ冠水に困っていた市民の方からの要望があり市役所の担当課と相談・検討を重ね、U字溝の設置により排水経路変更を行いました。

その後の大雨でも雨水の侵入が格段に減り「安心して、暮らすことが出来るようになりました。」と笑顔で喜んでいただきました。



市道山田・平賀線の渋滞による交通障害

山田地先に於いて市道山田・平賀線で平日朝の通勤時間帯及び、土曜・日曜・祝日での大型商業施設などへの買い物客の増加により一部区間600~800メートルが交通渋滞に見舞われ、枝道からの横断車両の左側が見通し悪く、以前事故が発生した場所で危険を伴うことから自治会とも相談の上、カーブミラーの設置を要望しました。市側に予算計上を行っていただき無事設置工事が完了しました。

また一つ、住民の方々の交通安全が確保されました。市の担当課の職員、施工業者の方々に感謝申し上げます。



大野 忠寄

おおの ただより
印西市山田2863-3 TEL.0476-98-3116
総務企画常任委員会副委員長
基本条例制定特別委員会副委員長
議会運営委員会委員
議会だより編集委員会委員
印西地区環境整備事業組合議員
公式ホームページ



コスモスパレットII芸術ホールを もっと使いやすく、早期予約を提案!

令和7年4月に開設されたコスモスパレットII内の芸術ホールは、300席を備えたホールで、市民の文化芸術活動の拠点として期待されています。

交通の利便性も高く、地域イベントの開催や芸術活動など、幅広い利用が想定されています。その一方で、現在の予約開始は2ヶ月前からとされているため、演奏会や発表会など長期準備が必要な催しからは「利用を断念せざるを得ない」という声も多数寄せられています。

現在は公民館の規則に準じた運用ですが、本ホールの性質や市民ニーズを踏まえると画一的なルール適用が最適とは限りません。高額な予算で整備された施設の利便性向上と活用促進のため、予約制度の見直しについて、市の考えを伺いました。

Q 早期の準備が必要なイベントについて、早めの会場予約を認める柔軟な対応が必要では？

A 現在は市民の皆さんが身近に、そして手軽に利用できるよう、他の公民館と同じ規則で運用しています。今後は利用状況やいただいた声を参考にしながら改善を検討します。



大崎 亜希

おおさき あき
印西市原山3-9-5-504 TEL.0476-85-6350
予算審査常任委員会副委員長
総務企画常任委員会委員
印西地区衛生組合協議会議員

